

## スポーツ・ダンスキャリアデザイン論授業評価報告

保健体育講座 牛山眞貴子

### 1. はじめに

本授業は、今年度教育学部新課程としてスタートしたスポーツ健康科学課程1年生（一期生として入学した）必修の授業である。新しい科目として初めて設けられた。

この課程では一年次終了後もとの健康スポーツコースを踏襲／継続していくスポーツ指導者養成コースと学生がこれまで培ってきたキャリアと潜在するセカンドキャリアを活かして、社会で活躍できる人財を育成するスポーツキャリア開発コースに、学生の進路選択によって分かれる。本授業の中で、学生の選択を支援できることが期待されている。

### 2. 受講生の構成

スポーツ健康科学課程1年生 21人  
健康スポーツコース3年生1人

### 3. 授業の目的・到達目標

#### 授業目標

- 1) スポーツやダンスのキャリアをどう活かすかについて、自己記録・話題提供・事例提供を参考に考察を行う。
- 2) 職業観を広げ、スポーツ・ダンスそれぞれの特性を明確にしていきながら、自己の適性と照合し、現段階の「未来図」を推論し作成する。
- 3) 大学の学びの中で、さらにキャリアを開発し、キャリアアップしていくための今後の課題を考え、認識する。

#### 到達目標

- 1) 自己のスポーツやダンスのキャリアを小学校から今日まで列記し、系統立てて述べるができる。
- 2) これまでのスポーツ／ダンスの種目特性と照合しながら、キャリアを自己分析することができる。
- 2) 話題提供者・事例提供者の話に耳を傾け、質問項目を作成し、尋ねることができる。
- 3) キャリア開発やキャリアアップのためにこれから自分が何をしなければならないかを整理し、述べる・書くことができる。
- 5) グループワーク・ディスカッションの中で、自己の役割を踏まえて、話し合いに対応することができる。

6) グループワーク・ディスカッションの中で、構成員と協力し合い、課題を遂行し、まとめることに貢献できる。

#### 4. 授業内容／スケジュール

- 1) ガイダンス 就職に関する日本の現状、キャリアデザインの必要性「10年後の私」
- 2) スポーツで培われる能力、ダンスで培われる能力を知る
- 3) スポーツをビジネスにする（講師を招き話題提供）  
→パネルディスカッション
- 4) ダンスをビジネスにする（講師を招き話題提供）  
→パネルディスカッション
- 5) スポーツ以外の仕事に就く（講師を招き話題提供）  
→パネルディスカッション
- 6) ダンス以外の仕事に就く（講師を招き話題提供）  
→パネルディスカッション
- 7) より専門性を磨く、研究職への道①（大学院生、大学教員による事例提供）  
→パネルディスカッション
- 8) より専門性を磨く、研究職への道②（大学院生、大学教員による事例提供）  
→パネルディスカッション
- 9) 私のスポーツキャリア、ダンスキャリアから見えてくる様々な未来図  
→そのためには今何をすればいいか
- 10) 自分を伝える①（筆記）  
書く、まとめる、グループワーク、ディスカッション
- 11) 自分を伝える②（筆記）  
書く、まとめる、グループワーク、ディスカッション
- 12) 自分を伝える③（話す聞く）  
スピーチ、対話、グループワーク、ディスカッション
- 13) 自分を伝える④（話す聞く）  
スピーチ、対話、グループワーク、ディスカッション
- 14) 自己の未来図となるキャリアデザインを作成する。

基本的なマナーとスキルを身につける。レクチャーデモストレーション  
15) まとめ, 評価,

#### 5. 授業アンケートによる授業評価報告

##### (1) アンケート項目について

いかに示す内容が講義最終日2月3日に行ったアンケートの内容である。

#### 授業アンケート「スポーツ・ダンスキャリアデザイン論」 2009.2.3

次年度以降の授業の参考にしたいと思いますので、アンケートのご協力をお願いします。  
氏名 \_\_\_\_\_

##### <授業について>

該当するものに○をつけてください。

- ① 授業の内容は理解できるものであったか。  
はい    いいえ    どちらでもない
- ② 授業は将来を考える上で、役に立つと思うか。  
はい    いいえ    どちらでもない
- ③ 自己のキャリアを振り返るワークや話題提供者によるディスカッションに積極的に取り組めたか。  
はい    いいえ    どちらでもない
- ④ 冬休みの教員へのインタビュー課題について  
参考になった    参考にならなかった    どちらともいえない
- ⑤ 今後、この授業を受ける後輩たちへのメッセージ

##### (2) 各項目の結果

授業の内容は理解できるものであったか。  
はい    22    いいえ    0    どちらでもない0

授業は将来を考える上で、役に立つと思うか。  
はい    22    いいえ    0    どちらでもない0

自己のキャリアを振り返るワークや話題提供者によるディスカッションに積極的に取り組めた

か。  
はい22    いいえ    0    どちらでもない0

冬休みの教員へのインタビュー課題について  
参考になった    20    参考にならなかった0  
どちらともいえない2

今後、この授業を受ける後輩たちへのメッセージ  
○自分の道や可能性を知ることができたと思います

○授業を受けて選択の幅や知識が広がり、進路について考えるようになったと思います。

○とても中身の濃い授業をありがとうございました。

○他学部学科の授業では学ぶことのできない内容でした。この授業を受けて将来への新しい考え方や実行力がつくと思います。

○自分の生活を見直すきっかけの授業となりました。将来のことを考えるにあたってかなり刺激になる授業でした。

○2年生では自分の可能性を広げられるようにしたい。

○悩むことは自分を見つめるよい機会になるのでしっかり悩んでください。

○この授業で自分の中の何かが変わると思います。絶対休まない方がいい。

○OB/OGのお話はとても参考になるので時間を大切にしてください。

ほか、全員がポジティブな方向への感想/意見を書いていた。

##### 6. まとめ

授業について非常にいい評価をしてもらったと思うと同時に、この授業への期待の高さとその期待にしっかり答えていきたいと気持ちの引き締まる思いがした。特に学生のキャリア教育の重要性が、期待と同様に伝わってくる後輩へのメッセージがほとんどであり、このスポーツキャリア開発コースは次に担当する必修の授業「トップアスリート論」他多くの新しい開設科目があり、その授業の内容を精査し、潜在する力とセカンドキャリアを引き出すチャンスを支援したいと考える。

1年生がスポーツやダンスのキャリアを知り、活かす方向へ動機付けを行う。この授業初期段階の目的は果たせた。ネガティブに自分の将来を捉えないで、自分の可能性をこれから開くのだというマインドに貢献できたと考える。この後2月10日に実施したコース分けも順調に行なうことができた。